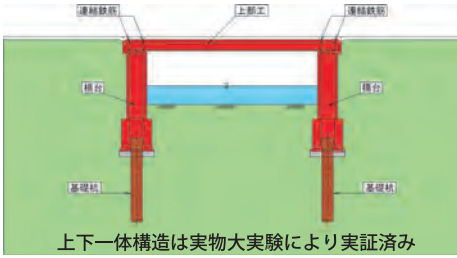
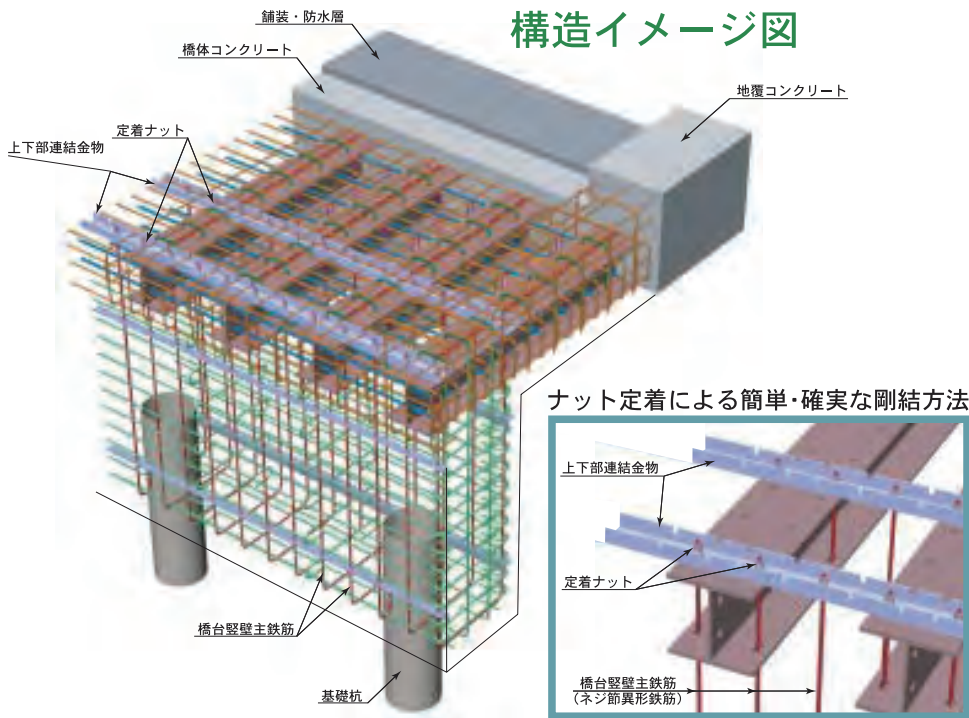


イーゼースラブ橋

イーゼースラブラーメン橋



従来、鉄道高架橋にしか使われていなかった優れた構造である、上部と下部をナット定着により剛結するラーメン構造で、設計ソフト化により一般橋梁への実用化を実現しました。



イーゼーラーメン橋の特徴

●上部工にイーゼースラブ橋構造を採用

・上部工にイーゼースラブ橋構造を採用しているため、従来工法に比べて、低桁高、現場工期短縮、狭小箇所での施工が可能といったイーゼースラブ橋のメリットをそのまま活かしています。

●耐震性の向上

・上下部一体構造であるため、単純橋構造に比べて耐震性に優れています。

●下部工サイズの縮小

・上下部一体構造にすることにより、基礎杭本数の低減や下部工サイズを縮小することが可能です。

●周辺環境への影響を最小限に

・低桁高、工期短縮、下部工サイズの縮小、仮設工（土留工・締切り工）を縮小・省略できうため、周辺環境への影響を最小限にすることが可能です。
・分割施工ができるため、架換工事において仮橋省略可能。

●支承、伸縮装置、落橋防止装置等が不要

・支承、伸縮装置、落橋防止装置等が不要となるため建設コストや維持管理コストの低減が可能です。

●適用条件

- ・最大支間長 20m 程度
- ・斜角 75° ~ 90°
- ・矢板基礎式は掘込河道に適用限定